

## 第57回 FM八女番組審議委員会 議事録

- 1 開催日 令和3年10月28日（水）午後4時00分
- 2 開催場所 FM八女会議室（八女市役所黒木支所2階）
- 3 出席者  
出席者総数 4名  
委員総数 7名  
出席委員 2名 青木歳男 古庄浩平  
レポート提出委員 4名 川口良和 酒井裕樹 吉武信博  
白鳥隆之  
放送事業者側出席者 2名 高木祥平 中島直樹
- 4 議題 「がまだすワイド801」金曜日版  
10月15日（金）12:30～15:00 放送分
- 5 議事の概要  
放送事業者が事前にCDに収録し、資料とともに各委員へ届けていた。  
上記の番組について、モニター後の感想を全委員に述べていただいた。
- 6 番組内容 地域密着型情報番組
- 7 審議内容  
・「あさのうた」は市の規模が大きすぎるとできない八女に見合った良い企画だと思う。  
しかし、紹介ナレーションで『お声』の『お』をつけなくてもいいのではないか。  
⇒オンエアを聴いて気になったので、そのあと収録分からは修正した。  
・規模が大きい保育所だと全員のインタビューに時間を取られすぎることや、名前だしNGの子などについてはどのように対応するのか。  
⇒各保育園や幼稚園などに個別に依頼をしており、可能なところのみ実施している。  
・「ハッシュタグFM八女」のコーナーは、思わず行きたくなるような情報が紹介されていて、コロナ後の経済活動に繋がるような内容で良かった。  
・「交通安全ニュース」では、身近な人身事故の事例を伝えることで注意喚起できていた。  
・「相談窓口801」のコーナーでは、マルチ商法に関する説明があったが、近親でも被害者が出やすく、自らが加害者にもなりやすい取引であるため、十分な周知と意識付けが必要だと思った。市民を守る為にも継続していただきたい。

- ・「少年少女野球ニュース」はコロナ禍で試合などが出来ない子どもたちを後押しする良いコーナーだった。しかし、その他のスポーツも取り上げるコーナーになるとより良いと思った。なぜ野球のみレギュラーコーナーとなったのか。  
⇒担当者が少年少女野球経験者であることから、各チームの関係者にアポイントを取りスタートした。今後はいろいろなスポーツを取り上げるコーナーにしていきたい。
- ・「金曜日のファイトコール」の内容はとても良かったが、特定の商品名や企業名が会話内で出てくる場面があった。法律上は問題ないが、どのように考えているか。  
⇒メッセージに記載があったものとは言え、企業名まで言う必要はなかったと考えている。
- ・「八女レシピ」のコーナーはレシピが斬新で良かった。事前にインスタグラムにレシピと画像を公開しているのも丁寧で良いと思う。
- ・「シルバー人材センター会員へのインタビュー」では、仕事内容や取り組む姿勢などを聞くことができ、今後何かを始めたいと思っている方々への後押しにも繋がったのではないかと思った。しかし、質疑応答形式が堅苦しくも感じたが、どう考えるか。  
⇒以前はフリートークに近いような形で実施したこと也有ったが、今回はセンター側が用意した質問内容で、1対1の質疑応答形式となった。毎年10月は普及啓発月間でインタビュー依頼がある為、今後は放送の仕方も工夫したい。
- ・「当日リクエスト枠」は、リスナーの想いが乗った選曲であって欲しいと思う。  
⇒いつもはエピソードやメッセージも考慮した選曲を行うこともあるが、この日届いたものはタイトルのみのリクエストメッセージだった。
- ・全体を通じて、パーソナリティ二人の息が合い、フリートークも含め楽しめる内容だった。コーナーのバリエーションも豊富で、老若男女問わず楽しめる構成となっていた。コーナーのタイトルに合わせた曲など選曲にも工夫が見られた。何を投げても大丈夫というお互いの信頼感が、番組制作に良い影響を与えていると思う。

## 8 審議機関の答申又は意見の概要の公表

公表の方法 自社ホームページへ掲載

## 9 次回の番組審議委員会

日時 令和3年12月23日（木）午後4時00分  
場所 FM八女 会議室

社名	一般財団法人 FM八女
----	-------------